

# 日本小児病理研究会 会報 第38号

2006年2月15日

## 1. ごあいさつ

総務幹事 堀江 弘

記録的な寒波の影響で、北国では多くの死者が出す雪害などが引き起こされていますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

昨夏、国立成育医療センターで行われた日本小児病理研究会総会において、総務幹事にご指名をいただきました。私にとって身に余る大変な職責ですが、他の幹事の先生方や、会員の皆様のご協力をいただき、研究会の充実、発展のためお役に立てるよう精一杯務めさせていただきますと存じます。

前総務幹事の森川先生から、今後の研究会の在り方についても検討するようという大きな課題を命ぜられました。まずは、手近に出来るところから一歩ずつやっていきたいと考えています。具体的には研究会のホームページを積極的に活用し、本研究会の基盤の一つである各地域での活動状況の紹介などを取り入れて、その内容を充実させること、夏の研究会あるいは2年前より開始された小児疾患の臨床・病理セミナーの内容についても、会員の要望を取り入れたものにできないかも検討していきたいと考えています。また、病理学会総会などにおいて小児病理の存在をアピールすることも含め、今後の研究会の在り方を皆さんと一緒に考えていきたいと存じますので、是非、積極的なご意見、ご助言をくださいますようお願いいたします。

## 2. アンケートのお願い

小児病理セミナーは2004年より夏の研究会に合わせて開始され、神経芽腫、Hirschsprung病、腎生検を主題として、病理ならびに臨床側からの講演が行われてきました。今年の9月には北海道立小児総合医療センター横山繁昭先生のお世話により、日本小児病理研究会と併せて札幌で開催されることになっています。

その主題については世話人である日本小児研究会会長ならびに研究会幹事会との協議により決定されてきましたが、セミナーの継続を考え、また、会員の要望をも取り入れたものにならないかとの発案を幹事の一部よりいただきました。そこで、小児疾患の臨床・病理セミナーに関する簡単なアンケートをお願いいたしたく、同封させていただきましたので、ご回答下さいますようお願いいたします。下段に研究会の在り方等について、ご意見をいただければ幸いです。なお、今夏の集会のスケジュールのお都合もございまして、2月末日までにご投函下さいますようお願い申し上げます。

## 3. 地区集会について

2005年実施分

第100回関東東海地区小児病理研究会

2005年2月4日

- |                           |                                 |
|---------------------------|---------------------------------|
| 1. 両側性腎腫瘍                 | 堀江 弘 (千葉県こども病院)                 |
| 2. 両頸部腫瘍                  | 北條 洋、中村直哉、阿部正文 (福島県立医科大学)       |
| 3. 左胸腔内腫瘍                 | 浜崎 豊 (静岡県立こども病院)                |
| 4. Beckwith-Wiedemann 症候群 | 松岡健太郎、大喜多肇 (国立成育医療センター)         |
| 5. 腹部腫瘍                   | 加藤啓輔、田中水緒、田中祐吉 (神奈川県立こども医療センター) |

第 101 回関東東海地区小児病理研究会

2005 年 6 月 3 日

1. 菌原性腫瘍の疑い 佐藤、田中水緒、田中祐吉（神奈川県立こども医療センター）
2. 眼球内腫瘍 松岡健太郎、大喜多肇、中川温子（国立成育医療センター）
3. 右手掌軟部腫瘍 箱崎道之、北條 洋、阿部正文（福島県立医科大学）
4. 皮下腫瘍（線維肉腫疑い） 田中水緒、佐藤由紀子、田中祐吉（神奈川県立こども医療センター）
5. 重症仮死、新生児遷延性肺高血圧症 浜崎 豊（静岡県立こども病院）
6. 低形成腎、慢性腎不全 堀江 弘（千葉県こども病院）

第 102 回関東東海地区小児病理研究会

2005 年 10 月 7 日

1. 右第 3 指軟部腫瘍 中川温子、松岡健太郎、大喜多肇（国立成育医療センター）
2. 頸部腫瘍（再発） 浜崎 豊（静岡県立こども病院）
3. ALL、同種骨髄移植、急性 GVHD 佐藤由紀子、田中水緒、田中祐吉（神奈川県立こども医療センター）
4. COFS 症候群（Pena-ShokeirII 型） 堀江 弘（千葉県こども病院）
5. 子宮内胎児死亡 北條 洋、阿部正文（福島県立医科大学）

第 55 回関西小児病理研究会

2005 年 12 月 10 日

1. 頭蓋内腫瘍の 1 例 橋本公夫、坂谷貴司、石原美佐、阿久津宣行（西神戸医療センター）
2. 小児脊髄腫瘍の 1 例 吉田牧子、今井幸弘、橋本公夫、長島達也、河村淳史、秋山英之、  
岡村有祐、赤坂好宜、金川公夫（兵庫県立こども病院、神戸市立中央病院、西神戸医療センター）
3. 日本小児肝癌スタディーグループの病理中央診断でみられた肝腫瘍について  
小林庸次、堀江 弘（大阪市立総合医療センター、千葉県こども病院）
4. 重症 IUGR の胎盤病理所見 中山雅弘、桑江優子、浜名佳子、濱中拓郎、末原則幸（大阪府立母子  
保健総合医療センター）
5. 著明な水頭症を伴った先天性トキソプラズマ症の一部検例  
裴 英洙、井上 健、小林庸次（大阪市立総合医療センター）
6. 上顎骨に発生した骨肉腫の一小児例 井上 健、裴 英洙、小林庸次、大杉夕子、原 順一、迫 正廣  
（大阪市立総合医療センター）
7. 生下時より右上腕部に皮下腫瘤を認めた新生児例  
中山雅弘、桑江優子、浜名佳子、坂野良之、西谷茂樹、坂田顕文、  
河 敬世（大阪府立母子保健総合医療センター）
8. 乳児背部筋肉内腫瘤の一例 浜名佳子、中山雅弘、桑江優子、安井昌博、河 敬世、清水義之、  
窪田昭男（大阪府立母子保健総合医療センター）

### 3. 次回の予定

会名：第 104 回関東東海地区小児病理研究会

日時：2006 年 6 月 2 日（金）17：30～

場所：国立成育医療センター 41・42 会議室

会名：第 56 回関西小児病理研究会

日時：確認中

場所：確認中

## 日本小児病理研究会事務局

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

国立成育医療センター臨床検査部病理内

TEL：(03)3416-0181 FAX：(03)3416-2222

日本小児病理研究会のホームページ

<http://plaza.umin.ac.jp/~jspp/nonframe.html>

# 小児病理研究会アンケート

小児疾患の臨床・病理セミナーは2004年より夏の研究会に合わせて開始され、神経芽腫、Hirschsprung病、腎生検を主題として、病理ならびに臨床側からの講演が行われてきました。今年は9月9日に札幌で開催予定です。このセミナーの主題内容、演者、形式などについてご要望をお聞かせください。

主題内容：

演者：

形式：

その他：

今後の研究会活動に向けて、会員の皆様のご意見をお聞かせください。

小児病理の中で興味のある分野

小児病理の中で得意な分野

小児病理以外の病理で興味のある分野

小児病理以外の病理で得意な分野

研究会に対する要望

ご協力ありがとうございました。